

# 広報あかいけ

発行所 赤池町役場 編集 総務課 文書広報係 ☎(代表) 2004  
印刷所 赤池印刷 毎月 1回発行

町の人口	
人口	9,641人 (減3)
男	4,603人 (増6)
女	5,038人 (減9)
世帯数	3,147世帯 (減6)
出生	4人
死亡	8人
転入	33人
転出	32人

(昭和57年2月末日現在)

## 財政再建へ“試練の年”

### ふんばれるか 赤池



三月十二日に開  
会された、昭和五  
十七年三月定例町  
議会の初日、香月  
町長は、昭和五十  
七年度予算の提出  
にあたり、次のよ  
うに施政方針を述  
べました。  
こんにちの社会

議員の皆さんをはじめ、多くの住民の方からいろいろなご意見を拝聴いたしました。これらの問題については、一日も早くその改善と対応はゆるがせにできないものであると切実に痛感しているところがあります。

教育、体育、文化の物心両面の充実、産炭地振興と就労対策事業の拡充、同対法の延長、鉱害復旧の早期着工、福祉対策等について山積する諸事業は、国や県に対しても強く要請を重ねていく所存であります。また、町内部における行政の取り組みは、まず、弾力性のある財政状況に一日も早く回

## 国・県へ『攻め』の姿勢で望む

情勢は、景気の低迷と複雑な諸問題の中で、不安定な社会構造を反映しているのが現状であります。この情勢下において、住民の皆さんの心の安らぎと、生活、経済の安定をいかにして少しでも与えることができるか、行政に課せられた責務と行政のとるべき方向を明らかにしなくてはならないと思っております。

昨年一年間、町議会

復することでありませう。

本年度、町の財政運営におきましては、諸経費の一律削減の措置も行わざるを得なくなっております。予算総額では、約十・五パーセントの伸びとなっておりますが、実質的には伸び率はゼロに等しいものであり、財政再建試練の年であると思えます。

このことから、予算の編成に当っては、事業面で緊急重要な事業で国の認可が得られるものを当初計上し、用地等の未解決分については、条件整備後に補正をお願いすることにいたしました。福

社対策等につきましては、できるだけ現状維持を保ちたいと考えておりますが、やむなく縮小せざるを得ないものもあるかと判断されます。しかし、これらの対策は、議会議員の皆さん方ともご相談を申し上げて対処していく所存であります。

行政面においては、財政事情悪化のため、職員の創意と工夫により、財政の効率的な運用がなされるよう、全職員をして一段と努力を重ねるよう指導していきたいと思っております。

これらの対策として、これまで推進してきた諸施策の定着をはか

ることであると思えます。そのためには、基本構想でありますところの人口増と企業誘致の実現に向けて、住宅団地の早期売却、工場団地の造成整備を公団に早期着工要請をしていくことでもあります。

赤池町の浮揚は、この二つの団地にかかっているといっても過言ではない現状であります。このことは、財政再建計画の基本的要素ともなるものであり、本年度の予算編成におきましても自主財源として、当初から組み入れを余義なくされているところであります。これらのきびしい情勢の変化を



見つめながら、財政再建を念頭におき、議員の皆さん方も十分にご協議を申し上げ、対処して行きたいと思えます。

(議案内容については、次号)で掲載。